

ネイティブマウスクレアチンキナーゼMM

Cat. No. NATE-1887

Lot. No. (See product label)

はじめに

ています。右の図には、筋肉型M-CKモノマーの結晶構造が示されています。生体内では、2つのモノマーが□称的に配置されて活性MM-CK酵素を形成します。心臓では、MM-CKホモダイマーに加えて、1つの筋肉型(M-CK)と1つの脳型(B-CK)サブユニットからなるヘテロダイマーMB-CKも発現しています。後者は、損傷した心筋細胞から血液中に放出され、臨床化学

によって□出される場合、心筋梗塞の重要な血清マーカーとなる可能性があります。

別名 CKM; クレアチンキナーゼ、筋肉; CKMM; クレアチンキナーゼM型; クレアチンキナーゼ-M;

クレアチンキナーゼM鎖; CK-MM

製品情報

種 マウス

由来 マウス骨格筋

形態 液体、50% グリセロール、50 mM トリス塩酸、2.5 mM β-メルカプトエタノール、0.05%

NaN3

分子量 43 kDa

純度 > 90% (SDS-PAGE)

濃度 > 1.0 mg/mL (A280)

最適pH 通常 7.0

保管・発送情報

保存方法 -20° Cで保管してください